

【創作】

ボヤキ講座
一漫才による世相表現 ①

増 田 辰 良

創作

ボヤキ講座
—漫才による世相表現①

増田辰良

目次

1. 自粛警察？
 2. 許してもらえないのか？
 3. 歴史に学べ
 4. 公益 vs. 私益
 5. 宛先は留置場
 6. 金はちゃんと使おう
 7. 何と言えばいいのだ
 8. 給料をカットしろ
- 参考文献
以下は次号。
9. ペットも受難時代
 10. 牛に感謝しよう
 11. 大変なときだからこそ参考文献

— まあ、みなさん、聞いてください。毎日、新聞を読んでいると、この世の中、けつたいなことばかりありますなあ。あるんじゃないかと、人間がやらかしてますなあ。わたしもねえ、この歳になると、世の中が不条理からでき上がっていることなど、百も承知してまずけど、ほんと腹の立つことばかりが目につきます。つい、ボヤキたくもなりま

すよお。なぜ、人間は不条理なことをしてしまうのか。理になかったことができないのか。しょうとしないのか。これを学者が研究している学問があるんです。それは『行動経済学』です。不条理は学問と大いに関係しているんです。

この不条理をネタにしていた漫才師がいました。漫才の大好きな方であれば、かつて関西に人生幸郎・生恵幸子（じんせいこうろう・いくえさちこ）という夫婦漫才師がいたことは、ご存知でしょう。社会問題、世相、歌謡曲や芸能界のスキヤンダルをネタにボヤク漫才です。当人たちは自分達の話を『ボヤキ講座』と紹介していました。

幸郎の『まあ、みなさん、聞いてください』という言葉ではじまり、『いいかげんなことばかりしくさつてえ、人をバカにしてんのかー（この表現は他にも数種類あります）責任者出てこい！』という啾阿（ぢうか）でつなぎ、幸子の『出てきたらどないすんのん？』という問いかけに、幸郎の『謝ったら、ええんやないかあ（あるいは、『謝ったらしまいやー！』で終わる噺です）。

今日は、その幸郎・幸子師匠を真似て、ボヤキ漫才を聞いていただきます。

*キーワード：行動経済学、ボヤキ漫才、不条理、能天気。

学問の発展に寄与すべく、不条理の幾つかを新聞記事から拾ってみました。さっそくボヤキしましょう。

1. 自粛警察？

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。新型コロナウイルスの感染者数が急増していたころ、政府によって不要不急の外出規制が要請されました。

(幸子) 家の中に閉じ籠れこも！って言われて、誰もがストレスを感じましたよねえ。

(幸郎) 気晴らしに、幼い子どもたちと近くにある公園で遊んでいると、警察官がやって来たんです。

(幸子) あら、お巡りまわさんが？

(幸郎) 「ステイホームしなきゃいけないときに公園で遊んでいる親子がいる、と通報がありました」と言って、職務質問（住所・氏名・年齢・職業・連絡先）されたんです。

(幸子) お巡りさんの仕事ですからねえ。

(幸郎) (相方に顔を向けて) さらっと合の手を入れてくれましたが、そう言うあなたに、お訊きしたい。

(幸子) あら、何を？

(幸郎) この親子は法を犯しているのか？ 公園で遊んでいただけぞ。コロナウイルス感染者との濃厚接触者でもあるまいし、警察官は個人情報聴取する必要があるのか？ あったのか？

(幸子) 何を言いたいの？

(一一)

(幸郎) (怒気) これは明らかに、職権乱用だろー!!

(幸子) 舞台へ出てくる早々、怒ってからの。もっと、正しく素直に理解すればいいでしょ。

(幸郎) じゃあ、警察への通報は巢籠すくもりを強要された人間からの嫌がらせなのか？ 直接、自分の口で忠告や注意ができないので、警察権力に代弁させたのか？

(幸子) そりゃあ、逆恨みをかうこともあるし、当人に訊かないと分からないわよ。

(幸郎) 当時、よく言われましたよ。自粛警察です。

(幸子) みなさん、自分だけは感染したくない、っていう気持ちが強かったですからねえ。

(幸郎) だからといって、警察に通報することはないだろ？

(幸子) 通報や暴言だけでなく、ネット上での誹謗ひぼう中傷ちゅうじやうもありました。

(幸郎) 卑怯な手を使いくさって！ たとえ世間が許しても、わたしは許さんぞ！

(幸子) まあまあ、落ち着きなさい。庶民の感情からして直接、言えない雰囲気があったからねえ。

(幸郎) か弱い庶民は許そう。でも、警察官も状況をみて職権を自粛すべきだろ。もっと疑問、腹が立つのは警察官が庶民に声をかけるときは、いつもいつも職務質問をしなければならんのか？

(幸子) 時と場合によりますよ。

(幸郎) この場合、住所・氏名・年齢・職業・連絡先まで訊く必要はあったのか？

(幸子) ……？

(幸郎) (怒声) えつ、どうなんだ!! 警察学校では、何を教えてい

るんだ!! 人をなめとつたら承知せんぞ!

(幸子) わたしに訊かれても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさつてえ、人をバカにしてんのか! 責任者出てこい!

(幸子) 出てきたらどないすんのん?

(幸郎) 謝ったら、ええんやないかあ。

2. 許してもらえないのか?

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。同じような話は、まだあります。

(幸子) まだ、ありますかあ?

(幸郎) 世の中は高齢社会。高齢者たちの多くは外出することが少なく、町内でもお互いに顔を合わせる機会は少ない。

(幸子) そうやねえ。部屋に籠こもりがちでえ。

(幸郎) 決まって遭遇しやすいのはゴミ収集日のゴミ箱の周辺です。

(幸子) まるで、カラスみたいと言いたいの?

(幸郎) (怒声) こら! この愚か者めが! 善良なるお歳寄りに、何てことを言うのだ!

(幸子) あんたのことだから先回りして答えてあげたのよ。(頭を下げ)間違ったらゴメンなさい。

(幸郎) そこで、井戸端会議ならぬ「ゴミ箱周辺会議」をはじめます。

(幸子) お天気模様、家族の話、自分たちの身体の具合など立ち話が弾むわねえ。お歳寄りに楽しいひと時。

(幸郎) その声は自ずと大きくなる。

(幸子) そうやねえ。歳取って、耳も遠くなっているから。しょうがないわ。

(幸郎) そこへ警察官がやって来た。

(幸子) また、お巡りさん?

(幸郎) お歳寄りは「ご苦勞様です」と勞ねがいの言葉をかけた。

(幸子) 朝から、パトロールをしているようですからねえ。

(幸郎) ところが、返ってきた言葉が……びつくりしまっせー。

(幸子) あら、びつくりする言葉?

(幸郎) 「ゴミ箱の辺りで話す声がうるさい、と通報がありました」。

(幸子) どうなつとんだ!!

(幸郎) まいあ、大きな声。

(幸子) 大きな声は地声だ!

(幸郎) ああ、思い出した。除夜の鐘がうるさいと文句を言われ、鐘をつくのを止めたお寺もあるそうよ。

(幸郎) まだ、ある。近所の幼稚園の子どもたちの嬌きょうせい声がうるさい、という苦情もあるそうだ。

(幸子) なかには、お子さんの声が嫌いな方、迷惑に思う方もいるから、ねえ。

(幸郎) 何でも気に食わないことがあると、文句を言えば通る世の中になつてしまったことに腹が立つ。

(幸子) そうねえ。他人のすることを許してあげたり、我慢することができなくなつて、何がそうさせるのでしょうかねえ。

(幸郎) 百歩譲ろう。このケース、通報者は夜勤明けのサラリーマンかもしれない。

(幸子) 受験勉強中の学生さんかもしれないわよ。

(幸郎) それなら多少の迷惑になったかもしれない。でも、でも、ですよ、そんな目に見えない相手にも気配りをしなきゃならんのか。ただか数分ほどのおしゃべりも騒音かい？

(幸子) 朝はみんな静かにしていたいから、ねえ。

(幸郎) お歳寄りのしゃべりがうるさいなら……。

(幸子) うるさいなら？

(幸郎) 道路を走る車を全部、止めろ！

(幸子) そりゃあ、できんわ。

(幸郎) 電車のごトン〜ゴトン〜と鳴る音を止めろ！

(幸子) それもできない。

(幸郎) 甲子園球場で野球の応援をする太鼓や笛の音を止めろ！

(幸子) まだ、言うてる。

(幸郎) いっぺん、音の無い世界を想像してみろ！

(幸子) 楽しくも何ともないわよねえ。

(幸郎) お歳寄りのおしゃべりくらい生活音として聴けんのかあ!!

どうなつとだー!! この世の中は!

(幸子) わたしに怒鳴られても……。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさつてえ、人をバカにしてんのか! 責任者出てこい!

(幸子) 出てきたらどないすんのん?

(幸郎) 謝ったらしまいや!

3. 歴史に学べ

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。もっと、びっくりするこ

とがあります。

(幸子) まだ、ありますか？

(幸郎) あるんだ。わたしのボヤキは尽きない。

(幸子) どんなこと？

(幸郎) 図書館への警察権力の行使です。

(幸子) えっ。またまたお巡りさん。どういうことですか？

(幸郎) 令状なしでの「捜査関係事項照会」が一部でまかり通っているのだ!

(幸子) お巡さんが容疑者のことを色いろ調べるときの照会ですね。

(幸郎) そう。

(幸子) その令状は絶対ないとダメなの? 「ない」と図書館は受

けてはいけないのかしら?

(幸郎) 憲法35条に基づく令状を確認した場合は例外として照会を受

けてもいい。

(幸子) は、その令状はこの誰が出すのですか?

(幸郎) 令状とは、裁判所が認めたものです。

(幸子) はい。ちゃんと法手続きを踏んでからってことですね。で令

状なしで、どれくらい照会されているのですかね?

(幸郎) 全国の192館が捜査機関から照会を受け、その6割にあたる113館が貸し出し履歴を提供していた(2011年調査)。

(幸子) まあ、そんなに多いんだあ。

(幸郎) 図書館は憲法が保障する『思想・良心の自由』(第19条)、『表

現の自由』(第21条)を支える不可欠な公共空間です。

(幸子) そうそう。誰でも自由に好きな雑誌や本を借りて読めますよ。

(幸郎) 警察は、容疑者がどんな本や雑誌を借りて読んでいるのか、

を調べたいようすなあ。

(幸子) ふくん。それを見て、どんなものの考え方をしているのか、その一部を知ろうと。

(幸郎) そうです。本や雑誌を読むことは単に知識を蓄えられるだけじゃなく、人格の形成という重要な精神活動でもある。誰にも知られたくないことだっただけあります。

(幸子) 何を言いたいの？

(幸郎) 図書館は利用者の履歴情報を持っている。

(幸子) これまでに、どんな本や雑誌を借りたのかという。

(幸郎) さっきも言いましたけど、この情報を保護することは憲法が保障する『思想信条の自由』の根幹となっっているのだ。(相方を見て) あんた、解るか？ あんたにはちよつと難しい？

(幸子) 憲法？ そうやねえ、難しい啻やねえ。

(幸郎) この問題は受ける側の認識不足がはなはだしい。

(幸子) 図書館ね。どういうこと？

(幸郎) 思想信条の自由を獲得するために、我われ人類はどれほど多くの犠牲を払ってきたことか、歴史を見れば明らかだ。

(幸子) 人類？ 歴史？ ずいふんと大そうな啻になったわねえ。

(幸郎) 歴史を見れば、そうやすやすと権力にはなびかないはずだ。

どうなつとんだ！

(幸子) あら、照会を出す側は許されるの？

(幸郎) バカもくくくん！ 許されるわけがない！ 権力を持つ側もその影響を考慮しないまま、行使したがる。影響は自分たちが庶民として生きる場面にも及ぶだろう。解らんかー！

(幸子) えらい剣幕で怒ってるけど、どうしろと？

(幸郎) 令状なしでの照会を出す側も受け取る側も、賢者は歴史に学び、愚者はさらにもっと歴史に学べ！

(幸子) わたしに言われても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさつてえ、人をバカにしてんのか！ 責任者出てこい！

(幸子) 出てきたらどないすんの？

(幸郎) 謝ったら、ええんやないかあ。

4. 公益 VS. 私益

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。こんな新聞記事を読みました。横浜市戸塚区、午前2時半ごろ、ある客が「鳥取駅まで、お願いします。鳥取砂丘を見たくて」と言っつて、タクシーを停めたんです。

(幸子) 横浜から鳥取へ、えらい長距離なこと。

(幸郎) 運転手くんは、親切に尋ねました。

(幸子) あら、何んと。

(幸郎) 「お客さん。高速を使つても料金は23万6690円ほどになります。が、よろしいですか」と。

(幸子) へーっ。細かい計算までしてえ、飛行機での往復が安いと違いますかあ？

(幸郎) そう、きつと安い。絶対に安い。

(幸子) お客さんはどう答えたの？

(幸郎) 「はい」。

(幸子) だから、どう答えたの？

(幸郎) 「はい」。

(幸子) 「はい」じゃ分らんでしょ。

(幸郎) 「イエス」。お願いしますの「はい」だよ。

(幸子) 乗ったんだあ。

(幸郎) なぜなら、道路交通法により、タクシー運転手は「公共交通機関」としての責任があるから。

(幸子) その上、長距離であれば高額の売り上げを稼げますもんねえ。うーん、でも、あまりにも長距離すぎない？ 乗車を拒否できないの？

(幸郎) 標準運送約款によれば乗客が明らかに所持金を持たないとき、燃料が足りなくなるとき、運転手の健康や安全が保障できないとき、などは拒否できる。

(幸子) でも、その場で持っていないでも到着後、ATMで下ろし、支払いはできる。燃料は途中で給油できる。長距離であれば、途中まで送り、交代の運転手を同乗させることもできますけど。

(幸郎) そう、乗車拒否しなくてもいい。

(幸子) 徹夜の長距離ドライブ、お客さんと運転手はどんな会話を交わしたのかねえ。

(幸郎) 結局、客の行き先は砂丘ではなくて留置場だった。

(幸子) へーっ！ お金を払わなかったのね。

(幸郎) イエス！ キリスト。

(幸子) 余計なことはしゃべるな！ でも、そんな悪どいことをする客の性別は？

(幸郎) よう訊いてくれた。ありがとう。それは無チン(貧)乗車だけに、もちろん女性だよ(笑)。

(幸子) あんたにしては、うまいダシヤレ。

(幸郎) 運転手くんには気の毒な言い方だが、高額の売り上げに心が

(六)

揺らいだのか？ 狭苦しい街中を出て、延々と続く高速道路をぶっ飛ばしてみたかったのか？

(幸子) 女の芝居にまんまとはまってしまったのかしら？

(幸郎) 鳥取は女と縁えんある土地だったのか？

(幸子) まさか、当初より帰省費用をネコババする気だったりして。

(幸郎) こんな呆れた嘸な、あなた、どう思う？

(幸子) わたしに訊かれても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさってえ、人をバカにしてんのか！ 責任者出てこい！

(幸子) 出てきたらどうしないすんのん？

(幸郎) 謝ったらしまいや！

5. 宛先は留置場

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。ネコババ事件は、まだあります。

(幸子) まだ、あるの？

(幸郎) 郵便の料金別納制度。知ってますかあ？

(幸子) どんな制度ですか？

(幸郎) これは送りが手紙が個々の封筒や葉書きに切手を貼る代わりに料金相当額を一括して支払う制度です。郵便を出す人も郵便局も手間が省けて、とても便利です。

(幸子) 切手を使わないからね。でも、貼るべきだった切手はどうなるの？

(幸郎) この切手は本来「使用済み」として消印を押した上で細断処

分されます。

(幸子) はい、はい、使ったものとして処分するのね。

(幸郎) がしかし、この切手を着服する局員がいた！

(幸子) ネコババね。その金額は？

(幸郎) いくらだと思おう？

(幸子) あんたがネタにするくらいだからあ、10万円くらい。

(幸郎) 10万円では漫才にならない。

(幸子) じゃあ、100万円。

(幸郎) いつも空っぽの財布しか持ち歩かない人間の回答だな(笑)。
ふん。

(幸子) 鼻で笑わないで、教えてくださいよ。

(幸郎) 聞いて驚くなよ。

(幸子) ヒエー！

(幸郎) まだ、言っていない。その金額はなんと約13億円。1千円切手
13万3千枚。

(幸子) ヒエー!!

(幸郎) どうだあー、眩暈めまいがするだろ。

(幸子) そつ、それを細断したのね。もったいない!!

(幸郎) あんたの興味、関心はそこかい？ 愚か者め！

(幸子) すみませんねえ。

(幸郎) 金、金と、人を信用する代わりに金を信用するという社会に
なってしまうって。

(幸子) その先にはどんな社会が待っているのかしら。何を信用して
生きていくのですかねえ、人間は。

(幸郎) そりゃ、知らん。

(幸子) でも、切手13万3千枚。さぞ重かったでしょうねえ。

(幸郎) 驚くのはまだ早い。

(幸子) えっ。まだあったりして？

(幸郎) 同じ手口で約1億7千万円の切手を着服した例もある。

(幸子) これまたあ、すごい金額ですね。

(幸郎) 切手の枚数を聞くと腰を抜かすぞ。

(幸子) 腰が抜けますかあ。

(幸郎) 抜けますかあ、じゃない。何と約374万枚！

(幸子) へ〜〜〜。想像を絶する重さだったでしょうねえ。

(幸郎) 重いのは切手だけじゃない。

(幸子) 他に重いものがありますかあ？

(幸郎) 罪も重い。こちらは懲役3年の実刑判決を受けた。

(幸子) なるほどお。そりゃあ、そうですよねえ。

(幸郎) この種の事件は、何にも珍しくない。

(幸子) まだ、あると言いたいのかしら。

(幸郎) あった。約54億円を着服した事件もあった(相手の驚く顔を
見よう)。

(幸子) (それに気づき) もう驚きません。郵便局の職員さんは半官

半民の社員でしょ。そんなにお金が必要なの？

(幸郎) そりゃあ、知らんわい。

(幸子) その職員はどう処分されたの？

(幸郎) 容疑者たちが自分の身に貼った罰という高額の切手、その宛
先は留置場だった。

(幸子) これはうまいオチ。でも、この種の犯罪は簡単に足がつきま
すよね。

(幸郎) どうして？

(幸子) だって、きつと金券ショップへ持ち込んだのでしょ。大量の

切手を持ち込めば、ショップが疑わないわけじゃないもの。

(幸郎) なぜ？

(幸子) お足(金)だけに(笑)。

(幸郎) あなたにしてはいい推理だ。ありがとう。

(幸子) 着服したお金、どう使ったのかな。遊興費？

(幸郎) きつとそうだろ。悪銭身に付かず。

(幸子) でも、留置場に入っているだけなら、十分に反省もせず食事を摂るのよね。これって税金よ。

(幸郎) そこで、わたしは考えた。

(幸子) 何を？

(幸郎) この切手代金分の反省文を書かせて、迷惑をかけた同僚や家族に送らせるといふ矯正法もあるぞ。どうだ、名案だろ？

(幸子) わたしに訊かれても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさってえ、人をバカにしてんのか！ 責任者出てこい！

(幸子) 出てきたらどないすんのん？

(幸郎) 謝ったら、ええんやないかあ。

6. 金はちゃんと使おう

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。金について、びっくりする歴史的事実が明らかになりました。

(幸子) お金の歴史的事実？

(幸郎) 中国が1964年に原爆、1967年に水爆の実験を成功させたころ、アメリカ国防総省は日本に兵器の「爆買」を提案

していたそうです。

(幸子) 今度は、国際問題？ 何を根拠に「爆買」を提案されたの？

(幸郎) 中国が弾道ミサイル100機と爆撃機150機を使って、日本の主要都市へ核攻撃をしかけたとすれば、日本が特別な防衛態勢をとらなければ、1800万人が即死するという科学的推測による。

(幸子) へーっ。その爆発の規模は？

(幸郎) 何とお、その爆発規模は15万5千キロトン。

(幸子) その爆発規模って、広島と長崎に投下された原始爆弾よりも大きいんじゃないの？

(幸郎) はるかに大きい。がしかし、アメリカが言うには、自分たちが開発したABM(弾道弾迎撃ミサイル)を導入すれば死者数は1500万人、高性能のABMなら1200万人に減らすことができる。

(幸子) 300万人も助かる。

(幸郎) 最も手厚い防空態勢として新型戦闘機と早期警戒機を導入すれば、費用は46・7億ドルで死者数は900万人にまで減らすことができる。

(幸子) 値段は値段ねえ、うんと払えばずい分と助かるわねえ。

(幸郎) ばか者！ 何を暢気なことを言うてるのか！

(幸子) そう怒らなくてもお。

(幸郎) 結局、この商売は頓挫した。

(幸子) 良かったわねえ。で、何を言いたいの？

(幸郎) わたしが言いたいのことは、軍備費用を、何とかしろってこと。

(幸子) 軍備費用ねえ、どれくらいあるの？

(幸郎) よくぞ訊いてくれた。世界全体では1兆9810億ドル

(2020年度)。

(幸子) ドルじゃあ、その大きさが判からない。

(幸郎) そりゃそうだな。日本円で、およそ213兆円になる。

(幸子) 大きすぎて、想像もつかない金額ですねえ。どこの国がそんなに使っているの？

(幸郎) アメリカが最も多くて7780億ドル、これは世界全体の39%を占めている。次が中国で推定2520億ドル、全体の13%を占めている。

(幸子) アメリカと中国。合わせると、この2国で世界の半分以上を占めている。

(幸郎) 軍備費用だけではないぞ。

(幸子) まだ、ありますかあ？

(幸郎) 現在、世界の9カ国が保有している核弾頭数(注)は13400発以上もある。

(幸子) 核を搭載した爆弾ですね。

(幸郎) そう、核兵器だ。

(幸子) どこの国が保有しているの？

(幸郎) 最も多く保有しているのはロシアで6370発、次がアメリカで5800発。この2国で世界の9割を占めている。

(幸子) いわゆる大国と呼ばれている国ね。

(幸郎) そうだ。

(幸子) これらの兵器を保有し、維持する費用もかかっているわよね。

(幸郎) もちろん、かかっている。なんと、無駄なことか。もっと賢い使い方をすべきだ！

(幸子) と、言いますと。

(幸郎) わたしにくれとは言わない。

(幸子) 誰があんたにやるか！ しっかり答えなさい。

(幸郎) くれても返すぞ！

(幸子) (語気強く) 絶対にくれないから。余計な心配はしなくてもいい。

(幸郎) で、わたしは提案したい。

(幸子) 例えば。どんな提案ですか。

(幸郎) 地球環境の改善、世界の貧困対策などに当てれば、人類はもっとハッピーになれるだろう。

(幸子) それが一番いいお金の使いかたよね。あんたにしては最高の答えやねえ。

(幸郎) 大国は、まだ争うつもりか？ 他の国もそれに追随するつもりかい！ 声を大にして言いたい。

(幸子) まだ、言うかー。

(幸郎) 科学技術の発展と称して、それを軍事機器に転用してきた。軍事機器の開発と称して、科学技術の発展を叫んできた。何のための科学技術なのか？ 考えてみる！

(幸子) 難しい問題ですねえ。

(幸郎) 科学技術は人類が安全、安心して暮らせることに使え！ もっと、しっかり考えんかい！

(幸子) あら、何を考えればいいのですかねえ。

(幸郎) 人類は未来永劫、生存できるのか？

(幸子) どういうこと？

(幸郎) 温暖化が加速して地球は悲鳴を上げている。それでも最後まで生き延びるのは、我が民族だけとばかりに大国は軍備拡張競争を続けている。それに追随する国まである。

(幸子) 地球の温暖化は止まりそうにない、ってこと聞きますよねえ。

(幸郎) 人類は壊れつつある乾いた粘土にも似た地球の上にいるんだぞ。分かってんのか! どう思うんだ!?

(幸子) わたしに訊かれても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさってえ、人をバカにしてんのか! 責任者出てこい!

(幸子) 出てきたらどないすんのん?

(幸郎) 謝ったらしまいや!

(注) 2020年6月現在、国別の保有核弾頭数は次のようになっている。
ロシア6370、アメリカ5800、中国320、フランス290、イギリス195、パキスタン160、インド150、イスラエル80、90、北朝鮮35、合計13400発超。

7. 何と言えばいいのだ

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。よう分からん事はまだありません。

(幸子) まだ、ありますかあ?

(幸郎) 日本では法律上、同性同士の結婚(同性婚)は認められていません。

(幸子) 憲法にそう書いてありますねえ。

(幸郎) ここに女性どうしのカップルがいます、日本ではできないので、同性婚を認めているアメリカはニューヨーク州で正式に結婚をした。

(幸子) 今はそういう時代だからね。同性婚を法律で認めても、誰も困る人はいません。むしろ多様性を重視する社会への実現を

(10)

一歩進めることになります。快く認めてあげて、祝福してあげましょう。

(幸郎) あなた、今日いいことを言いますなあ。

(幸子) あら、そうかしら。で、同性婚がどうなりました。

(幸郎) わたしも心から祝福してあげたいのは山々だが、問題が発生した。

(幸子) えっ。どんな?

(幸郎) ほどなく一方の女性(被告)が出産を望み、ある男性から精子の提供を受けたんです。

(幸子) そんな話ならよく聞かし、筋の通る話ですね。女性なら子どもを産み育ててみたいし。

(幸郎) がしかし、その後が良くなかった。

(幸子) えっ、何があったのですか?

(幸郎) この男性と不倫の関係になり、破局した。

(幸子) 不倫?

(幸郎) パートナーの女性(原告)は婚姻関係を破綻させられたとして、相手女性に損害賠償を求めて提訴した。

(幸子) 裁判? ややくしくなつたわねえ。

(幸郎) そう、ややくしい。

(幸子) で、被告の女性は?

(幸郎) 被告は「これまで判例もなく賠償請求はできない」と主張したぞ。

(幸子) 同性婚の裁判ですからねえ、聞いたことないですよ。

(幸郎) 日本で最初の裁判だ。

(幸子) で、裁判官の判断は?

(幸郎) 裁判官は「異性同士の結婚や事実婚と同様、同性同士であつ

ても法的保護に値する」という原告勝訴の判決を出した。

(幸子) うん。妥当な判決よね。立派、立派。

(幸郎) この判決よりも、この被告に言いたいことがある。

(幸子) 何を言いたいの？

(幸郎) 男と不倫をするくらいなら、当初より異性を選ぶべきだったろう。問題をややこしくしやがって！

(幸子) なるほどお。でも、あんたが腹を立てても、しょうがない。

(幸郎) しょうがないかあ。

(幸子) これから似たような裁判がたくさんおこなわれるかもしれないですよ。

(幸郎) 同性どうしの結婚を希望する人が増えているから。

(幸子) はい、はい。

(幸郎) でも、やっぱり女と男の関係はどこまでいっても摩訶不思議な物語を生む宝庫のようですよなあ。

(幸子) その意見は正しいわね。

(幸郎) しかうし、この問題はもつと奥が深い。

(幸子) どう深いの？

(幸郎) 憲法24条には「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し……」とある。同性婚の問題は、この条文の改正から議論しなければならぬ。

(幸子) 「両性」の部分ね。そもそも両性が何を指しているのかねえ？

(幸郎) いいところに気が付いたねえ。褒めてあげよう。

(幸子) あら、そう。ありがとう。

(幸郎) で、わたしは勉強をした。

(幸子) どんな勉強？

(幸郎) 憲法24条と両性が指す意味を、だ。

(幸子) じゃ、勉強の成果を披露してもらいましょう。

(幸郎) うん。学者や弁護士の間でも、両性とは男女ではあるが、憲法24条は同性婚を禁じているものではないとか、男女ではなくて当事者同士と解釈できるなど、色んな考え方があつた。

(幸子) 男女の意味も関係も憲法が制定された時代を考えると、今じゃ、様変わりしているし。

(幸郎) そのとおり。

(幸子) あら、同意してくれるのね。

(幸郎) また、なぜ同性なのか、を突き詰めると「婚姻」や「結婚」の意味をも考え直さなければならぬ。

(幸子) 婚姻、結婚の意味？

(幸郎) 「婚姻」や「結婚」をお互いに心地よい生涯を送るにふさわしいパートナーとの関係と捉えると、性を越えた世界が見えてくる。

(幸子) 性を越える？ 男と女を越えるってこと？

(幸郎) AIロボット、ペットと心地よい生涯を送ることができるのであれば、それらとの婚姻関係を主張することもできる。何も人間に限ることはない、と。

(幸子) ロボットやペットと結婚するってこと？ あんた！ 起きてるか!? 眼、覚めてるか??

(幸郎) じゃかましい！ 起きてるわい！

(幸子) 寝言みたいなこと言うてからに！

(幸郎) これは夢物語ではなく、技術の進化した遠い未来にはありそうな話ですよ。そう考えれば、憲法で人間同士の同性婚を認めることなど屁でもない、と考えるが。あなた、どう思う？

(幸子) わたしに訊かれても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさってえ、人をバカにしてンのか！ 責任者出てこい！

(幸子) ちょ、ちょっと待ってください。

(幸郎) わたしの決め台詞を……止めて？

(幸子) この場合は「いいかげんなこと」ではないし、「人をバカに」してないですよ。

(幸郎) ああ、そうやった。(両手で拝む仕草) ごめんちゃい。

(幸子) では、やり直してください。はい、どうぞ。

(幸郎) いいことばかりしくさって！ 責任者出てこい！

(幸子) 出てきたらどないすんのん？

(幸郎) 謝ってからもっと色々教えてもらえば、ええんやないかあ。

8. 給料をカットしろ

(幸郎) まあ、みなさん、聞いてください。次は役人と政治家の嘶です。役人から始めましょう。

(幸子) 役人なんて古臭い言い方。公務員さんのことね。

(幸郎) 中央省庁で働く国家公務員のうち「過労死ライン」の月80時間を超える超過勤務(残業)が問題となっています。これを理由に退職する若い職員たちも多いそうです。

(幸子) そりゃあ、死んでしまうような働き方はしたくないわよ。

(幸郎) さらに国家公務員になりたいという若者も減っているそうです。

(幸子) ふ〜ん。で、超過勤務のはなはだしい省庁はどこなの？

(幸郎) 超過勤務を所属ごとの延べ人数で見ると(2020年12月)

(一一一)

2021年2月)、トップは厚生労働省、次に財務省、国土交通省・・・と続く。

(幸子) 今、新型コロナウイルス感染症予防対策の最前線にいる職員さんたちね。

(幸郎) それだけじゃない、年金や福祉行政で我われ国民にああしろ、こうしろと法制度を作っている役所だ。

(幸子) じゃあ、忙しいわけだ。

(幸郎) その多忙さからして、たとえ開催しても残業後の飲み会はさぞかし早く切り上げていることだろう、と気づかってあげたが。しくしくし。

(幸子) 好きなように、いつまでも飲んでいられない。明日の業務もあるからねえ。

(幸郎) 業務内のことではないが、いやはやとんだ失態があった。

(幸子) 残業して、その上さらに飲み会をしていて、どんな失態？

(幸郎) 平時ならいざ知らず、東京都では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飲食店には営業時間の短縮(午後9時まで)を要請していた。

(幸子) そうそう、時短営業を要請されて、利用するお客さんもお店も大変だ〜って、テレビでやってましたよねえ。

(幸郎) そんな飲食店のうち深夜まで営業している店をしっかりと探して選び、マスクなしでドンチャン騒ぎの送別会をしていた役人たちがいた。

(幸子) どの省？

(幸郎) (しらっと) 厚生労働省(老健局)の職員23人！

(幸子) えーっ!! 業務の残業時間が一番長くて、文句を言っている省でしょう。さらに飲み会も残業ってこと？

(幸郎) そうです。

(幸子) そんな筋の通らないむちゃなことをした、言い出しつべは誰？

(幸郎) 課長の音頭で、すみやかに実施した。

(幸子) 課長の音頭で!? 信じられない！

(幸郎) 要請に従い、店は午後9時までを前提に食事を提供していた
そうだ。

(幸子) 当然よ。国民みんなが我慢しているときだし、この要請に従わない店は軽い罰(過料)を科せられるルールも作られたから。

(幸郎) 作ったのは国の役人たちだ。

(幸子) オフコース (off course) !!

(幸郎) そう、役人たちは人の道を外れたのだな(笑)。

(幸子) どの程度、外れたのかな？

(幸郎) 課長は午後11時20分まで店に残り、10人前後は午前0時まで
居座ったそうだ。

(幸子) 居座った？ 開いた口が塞がらない、とはこのことね。業務
での残業ならば、お手当ても支給されたでしょうに。

(幸郎) 飲み会で時間延長できるほど体力も財力にも余裕があるのな
ら平時の残業など屁でもないだろう。残業代を受け取るな！

(幸子) それこそ、サービス残業で十分よね。

(幸郎) この種の漫才ネタは厚労省にかぎらず、他の国家公務員にも、
地方公務員にもあった。

(幸子) えっ。国民に自粛しろと要請している人たちが。

(幸郎) 大阪市じゃ、市の職員たちが勝手な解釈までしていた。

(幸子) 勝手な解釈？

(幸郎) 要請には強制力はないと解釈して、職員千人以上が9時以降

も飲食店で飲み食いしていた。

(幸子) まあ。それじゃあ、市民に対して強制ではない、とアナウ
ンスしなきゃだめよね。

(幸郎) 国や役所からの要請と言われれば、我われ国民や市民は従う
のが義務のように受け取りますよね。

(幸子) そう。みんな協力しましょう、ってね。

(幸郎) 公務員がやっつてんだから、どこかの知事も地方議会の議員も、
国の大臣までもがやっつてくれた。

(幸子) う〜ん。

(幸郎) さらに、あろうことか小学校の校長、教員たちもマスクなし
の飲食をとまなう懇親会をやっていた。校長なんかは、口止

めまでしていたぞ。

(幸子) 先生〜？ 生徒に合わせる顔がないじゃないの。

(幸郎) もっと呆れたヤツがいた。

(幸子) まだ、いるの？

(幸郎) いるんだ！ テレビで国民に対して感染予防をしる、3蜜を
避ける、うがい・手洗い・マスクをしる、医療は逼迫・崩壊

している！ 国の予防策はなつとらん！ と声を張り上げて
いた〜。

(幸子) 張り上げていた〜、のは誰？

(幸郎) 聞いたら卒倒するぞ！

(幸子) まだ死にたくないけど、聞いてみたい！

(幸郎) 日本医師会の会長だ！

(幸子) ヒエ！ お医者さんの代表でしょう。どこでウロウロしてた
んですか？

(幸郎) 100人以上が出席していた国会議員のパーティーだ。医師

会の役員13人も出席していたぞ。

(幸子) また、政治家が絡んでいたのねえ。どうしようもない人達。

(幸郎) その愚行が明るみになると、彼らはただひたすら頭を下げるばかりなり。「軽率な行動、判断でした。誠に申し訳なく思っています」。反省が足りんのだ!!

(幸子) あんたが怒るのも当然、領けます。

(幸郎) 潰れることのない安定した職場でえ、給料が高すぎる！ 誰から給料をもらっていると思ってるんだ！

(幸子) わたしたちが納める税金よね。

(幸郎) そのとおり。カットしろ!!

(幸子) ルールや制度を作り、国民に従うよう指示する人たちは、ま

ず自分たちが範を垂れるべきでしょ。これって常識よね。

(幸郎) 常識のないヤツがいるから漫才のネタになる(笑)。

(幸子) なるほどお。

(幸郎) この話には、さらにオチまであった。

(幸子) オチ？

(幸郎) 厚労省の役人たちが送別会に参加したメンバーのうち半分の12人が後日、ウイルスに感染していたことが判明したそうさ。

(幸子) 陽性反応が出たのね。

(幸郎) 送別会を開催するなんて、よ(う)せ(い)ばよかつたのにな(笑)。

(幸子) んんっ。まるで罰が当たったようねえ。

(幸郎) 公的業務に就く者たちはどうしてこうも能天気なのかね。自分たちを上級国民、庶民を下級国民(愚民)と見ているのか！

許さんぞ！

(幸子) 民間人がルールや制度を破ると罰則を科されるけど、自分た

(一四)

ちの失態へも罰則を制定すべきですよ。

(幸郎) その罰則を潔く受けたお人もいた!!

(幸子) あらうう！ 罰を受けた政治家がいるって。

(幸郎) イギリスでの話です。イギリスではロックダウン(都市封鎖)の最中にジョンソン首相が官邸で開催された、ご自分の誕生日パーティーに10分ほど出席したことが規則を破ったとして罰せられた。

(幸子) えううう。ジョンソン首相って、現職ですよ。

(幸郎) オブコース(もちろん off course)。罰金は50ポンド、日本

円で約8千円ほどを、即日納付した。

(幸子) パーティーなら他にも政治家や役人たちがいたんじゃないの。いたいた。ジョンソン首相の妻キャリーさん、スナック財務

相なども罰金処分を受けた。この件では約50人が摘発された。

(幸子) 当然よね。国の代表として、感染対策を作り、国民に強制し

てくる人たちだもの。

(幸郎) こんなことでは感染予防を国民に強制しても、お願いしても説得力に欠ける。いつまでたっても感染は終息しない。

(幸子) どうすればいいですか？

(幸郎) まずは役所内や政治家たちの間にはびこる能天気というウイルスを除菌しろ！ 除菌剤を撒きまくれ！ 役人と政治家たちを除菌プールへ浸けてやれ！ どうなんだ!!

(幸子) わたしに怒鳴られても、ねえ。

(幸郎) いいかげんなことばかりしくさってえ、人をバカにしてんのか！ 責任者出てこい！

(幸子) 出てきたらどないすんのん？

(幸郎) 謝ったらしまいや！

(次号へ続く)

参考文献(演題順に掲載している)。新聞記事は『朝日新聞』である。

- 1.. 『新聞』「声 公園遊び通報 怒りこみ上げたが」2020年5月13日。
- 2.. 『新聞』「ひととき おしゃべり110番」2021年2月23日。
- 3.. 『新聞』「図書館貸し出し履歴保存は問題」2021年6月13日。
- 『新聞』「憲法を考える 公共図書館 利用情報の扱いは」2021年5月25日。
- 4.. 『新聞』「声 無令状の図書館利用照会 あり得ぬ」2021年3月27日。
- 『新聞』「ニュースQ 横浜↓鳥取600キロ タクシー乗車拒めないの?」2021年1月20日。
- 5.. 『新聞』「2.9億円の切手 郵便局員が詐取」2022年1月29日。
- 『新聞』「切手1.7億円分着服し換金 元郵便局員に懲役3年判決」2021年5月11日。
- 6.. 『新聞』「切手13億円分 横領した疑い」2020年12月2日。
- 『新聞』「米英仏中ロ「核戦争に勝者なし」声明」「突然の声明 行動力に注文」2022年1月5日。
- 『新聞』「2人1組ミサイラー 24時間臨戦」2021年5月5日。
- 『新聞』「いちからわかる! 世界の核兵器はもつと減らないのか?」2021年1月23日。
- 『新聞』「冷戦下 中国が核攻撃したら…」2020年8月3日。
- 『新聞』「いちからわかる! 核兵器をどう減らすか 国連で議論中なのか?」2019年5月10日。
- 7.. 『新聞』「婚姻制度 何のために」2021年4月21日。
- 『新聞』「同姓カップル「法的保護の対象」」2021年3月20日。
- 8.. 『新聞』「英の現職首相 違法行為で初の処罰」2022年4月14日。
- 『新聞』「国税職員が飲酒と会合 感染」2021年7月14日。
- 『新聞』「日医会長 政治資金パーティー参加」2021年5月13日。
- 『新聞』「老健局感染は「クラスター」」2021年4月21日。
- 『新聞』「教員ら懇親会 校長が口止め」2021年4月15日。
- 『新聞』「厚労省の大会食 誰も止めず」2021年4月1日。

その他の参考文献。

- ウイキペディア 人生幸郎・生恵幸子、2021年4月19日。
 エヤル・ヴィンター(青木創訳)『愛と怒りの行動経済学 賢い人は感情で決める』早川書房。
 ダン・アリエリー(櫻井祐子訳)(2019)『ずる 嘘とごまかしの行動経済学』早川書房。
 ダン・アリエリー(NHK白熱教室製作チーム訳)(2018)『アリエリー教授の「行動経済学」入門』早川書房。
 ダン・アリエリー(熊谷淳子訳)(2013)『予想どおりに不合理 行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」』早川書房。

- 『新聞』「厚労省23人 深夜まで会食」2021年3月31日。
 『新聞』「霞が関「過労死ライン」6532人」2021年3月31日。
 『新聞』「いちからわかる! 国家公務員辞める若手が多いの?」2021年2月17日。

